

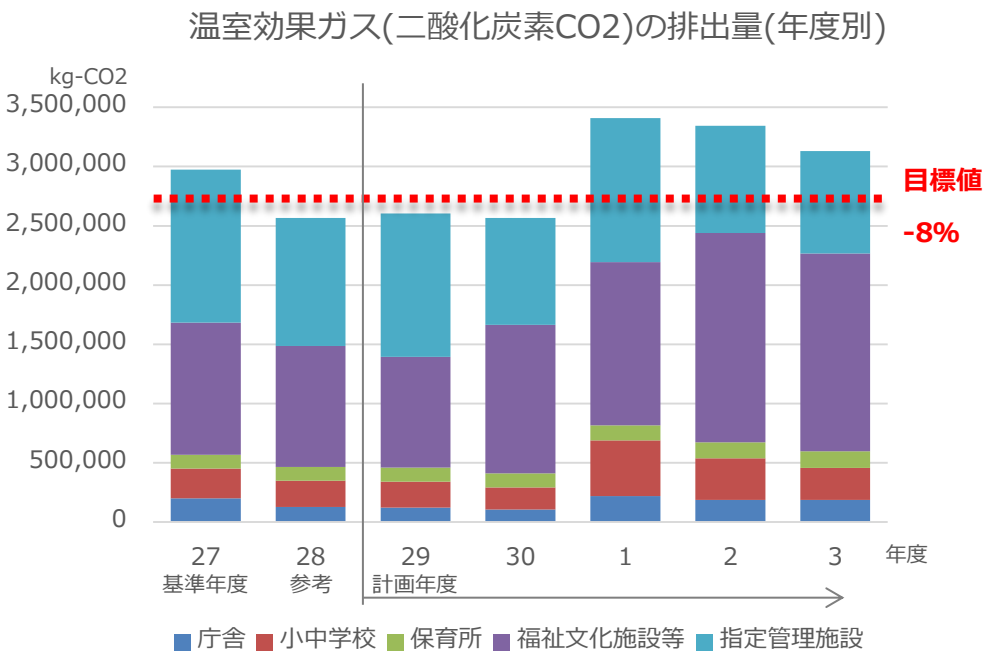
富士川町役場環境保全率先行動計画(第2期) 事務事業編(公共施設)

公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)～令和3年度)

■ 温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)

単位 : kg-CO2

項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平成27年度	
	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	からの削減率	
庁舎	198,443	100%	126,091	64%	121,663	61%	104,263	53%	217,827	110%	184,555	93%	186,251	94%	436,108 15%	
小中学校	252,240	100%	220,668	87%	218,030	86%	187,962	75%	470,950	187%	351,560	139%	268,909	107%		
保育所	115,243	100%	118,697	103%	118,671	103%	117,185	102%	125,656	109%	137,353	119%	142,379	124%		
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,019,196	91%	935,159	84%	1,253,907	112%	1,378,978	123%	1,766,404	158%	1,670,123	150%		
指定管理施設	1,290,768	100%	1,081,287	84%	1,210,067	94%	903,855	70%	1,216,441	94%	903,185	70%	863,311	67%		
合計	2,973,744	100%	2,565,939	86%	2,603,590	88%	2,567,172	86%	3,409,852	115%	3,343,057	112%	3,130,973	105%		
基準年度					参考		計画年度									➤



【参考】

■ 令和3年度のCO2排出量は平成27年度に設定した基準年度の-8%という目標値に対して13%のプラスとなっており、目標を達成することはできなかった。しかし、前年度と比べると-7%の削減に成功している。その要因としては2つ理由が挙げられる。1つ目、昨年度に引き続きコロナウイルスの影響による指定管理施設の利用量の減少している。2つ目、福祉文化施設等の施設数の減少が要因としてあげられる。

■ エネルギー使用量については、平成27年度と比べて、電気、灯油、重油、LPG、ガソリン、軽油のどの点においても削減ができていることが分かる。ガソリンの使用量は基準年度に比べ-26%の削減に成功している。また昨年度と比べても-10%の削減に成功している。来年度も引き続き公用車の計画的な更新を行い燃料等の削減を目指したい。